

平成27年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：府立障害者交流促進センター(ファインプラザ 大阪)

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
1 施設の設置目的 (身体障害者福祉センター A型の機能) 及び管理運営 方針	・施設の設置目的に沿った運営 がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府と指定管理者において綿密に連携をとりながら、効率的かつ利用者本位の運営に引き続き取り組まれない。</li> <li>・「みんなでつくる発表会」は学生などを含め、障がいのある方と障がいのない方とで、共にプログラムを作りみんなで発表しあう点で、他の施設ではあまり見られない交流の機会を設け、この施設ならではの特色が出ており評価できる。</li> <li>・地域の方々がグループ単位で利用するようになれば、利用者が増え、定着にも繋がる。地域に働きかける活動を展開することにより、利用者を増やす効果が期待できるのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域展開事業等を通して、学校や総合型スポーツクラブなどと同様に地域や来館者への働きかけを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度の地域展開事業等において検討する。</li> </ul>
2 平等な利用を図るための 具体的手法・効果	・公平なサービス提供、対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフブログについては、形式的な案内ではなく、行事や施設の詳しい中身を掲載しており、ブログを見れば施設を利用したことがない方にも非常に分かりやすい内容となっている。</li> <li>・ブログの更新について、スタッフに負担があるのであれば、原稿の協力をしてもらったり、連携している大学へ依頼するのも一つの方法ではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状のブログ更新頻度やスタッフの負担等を考慮しながら連携大学と調整する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に連携大学と調整する。</li> </ul>
3 利用者の増加を図るための 具体的手法・効果	・利用者増加のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設のキャパシティをどれくらい活用できているのか検証し、障がいのある方とない方の交流を促進しながら、さらなる有効活用を図り、障がい者スポーツの振興を図ればどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の施設利用率を検証し、さらなる有効活用策を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に検証及び有効策の検討を行う。</li> </ul>
5 利用者への安全対策、 施設の維持管理の内容、 適格性及び実現の程度	・点検・補修の適格性、迅速性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリ・ハットについて、改善策も非常に丁寧に対応されている。ヒヤリ・ハットの目的はかなり達成されていると思われる。 ただ、設備に関することと、安全に関することを区分し、安全に関する問題については、どんな事故が予想されるのかを書き込むなどの工夫をすることにより、さらに良くなると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備と安全に関する事項を分割し、分かりやすいように情報の整理を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に実施する。</li> </ul>